※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)地理特論	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新詳 地理探究」（帝国書院）「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新編地理資料 2025」（とうほう） 「新編地理資料 2025 準拠 白地図作業帳」（とうほう） 「データブック オブ・ザ・ワールド 2026 年版－世界各国要覧と最新統計－」（山川出版社） 「ウィニングコンパス 地理の整理と演習 2026」（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理学には自然環境や産業、人口や都市といったテーマごとに考察しその知見を一般化する系統地理学と、国や国家群などの地域的な枠組みから世界の諸地域を考察する地誌学という二つの分野がある。これらをバランスよく学ぶことによって、広い視野に立って国際社会や世界の諸課題を地球的な視野で捉え、持続可能な社会の在り方について探究する力を養って欲しい。

授業では、教科書や副教材等を用いて確かな知識を身につけるとともに、ICT 機器を活用したレポートやプレゼンテーションなどを取り入れ、主体的に学ぶ力や自らの考えを人に伝える力も養って欲しい。

２　学習の到達目標

・地理的事象の空間的な規則性・傾向性や関連する課題の発生要因を捉える系統地理的な学習と、現代世界の諸地域の地理的認識を深める地誌学習を通して、地理的な見方や考察方法を身につける。
・現代世界や日本が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や望ましい将来像についての認識を深めるとともに、考察したことを説明したり議論することで、主体的に学ぶ力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理的事象の意味や意義、諸地域の特色や相互の関連を理解し、地図やグラフなどの資料、地理情報システムなどの読み取りを通して、現代世界や日本の諸地域の特性とそこで発生する諸課題について地理的認識を深めている。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、空間、人間と自然環境との相互関係、地域などに着目して多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて構想することができる。また考察、構想したことを効果的に説明、発表し、議論することができる。	調査、討論、発表などの探究的な学習を通して、世界の諸地域や日本における地理的な課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、市民としての自覚を持ち、社会へ参画・貢献することへの意識が高まっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	資源と産業	①エネルギー･鉱産資源 ②資源･エネルギー問題 ③工業 ④第３次産業	a：資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的･多角的に考察し、表現している。 c：資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 課題 討論・発表 学習の振り返り	白地図作業 レポート 課題 討論・発表 学習の振り返り
	交通・通信・観光・貿易	①交通･通信 ②観光 ③貿易と経済圏	a：交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的･多角的に考察し、表現している。 c：交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

	人口・村落・都市	①人口 ②人口問題 ③村落と都市 ④都市・居住問題	a：人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
後期	生活文化・民族・宗教	①衣食住 ②民族・宗教と民族問題 ③国家の領域と領土問題 ④現代世界におけるこれからの日本の国土像	a：生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。また現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて理解している。 b：生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象や日本の国土の地理的な課題について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：生活文化、民族・宗教や持続可能な日本の国土像について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 課題 討論・発表 学習の振り返り	白地図作業 レポート 課題 討論・発表 学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

	現代世界の諸地域	①中国 ②韓国 ③ASEAN 諸国 ④インド ⑤西アジアと中央アジア ⑥北アフリカとサハラ以南アフリカ ⑦EU 諸国 ⑧ロシア ⑨アメリカ合衆国 ⑩ラテンアメリカ ⑪オーストラリアとニュージーランド	a: いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 b: 現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度